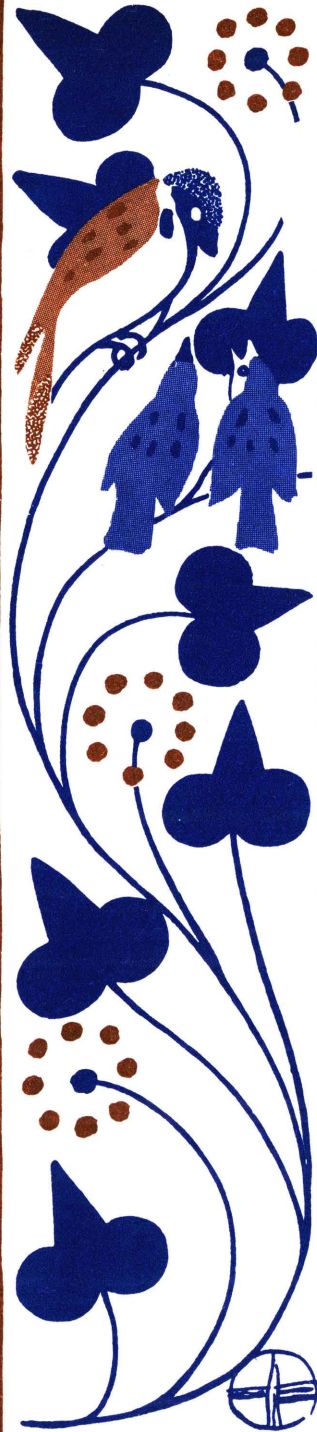


婦人子ども

第十四卷
第十號



大正三年十月十日

フ
レ
ー
ベ
ル
會

第十四卷第十號目次

一般教育が疾病に及ぼす影響 石塚 保吉

少年俳人 若 ぎ 父

英國の幼稚園 紹 介 生

雜 纂

○ベルリンの幼者保護(小河滋次郎氏)——○幼児の訓練

(安井哲子氏)——○ハウ女史歡迎會(神戸某氏報)——○

時局と幼稚園(丸山義一氏)——○福島文學士著『兒童の

模倣』(編者)

保育入門 (九) 倉橋 惣三

幼稚園教育の手段——一般論——音樂論

雜 錄

フレーベル自傳 (第十回) 倉橋惣三譯

本誌定價

一冊 郵稅共金拾壹錢 六冊前金郵稅共六拾錢
拾二冊同金壹圓貳拾錢 郵券代用一割増

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ
込み下さい。直に御送本致します。(振替口座東京一七二六
六番)

本會宛御用務

本會宛諸般の御用務は左の如く願ひます

(庶務上保姆紹介に關する件を含む)の御手紙は
東京市小石川區久堅町七十四番地フレーベル會事
務所宛

會計事務は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、
雨森鋤宛

本誌編輯の御用務(寄稿、廣告等)は東京府下代々
木山谷一二四倉橋惣三宛

大正三年十月十日發行
大正三年十月十日印刷

編輯兼發行者 倉橋 惣三
東京府豐多摩郡代々幡村大字代々木山谷一二四

印刷者 東京市本所區番場町四番地 登
印刷者 東京市本所區番場町四番地 井

印刷所 東京市本所區番場町四番地
出版印刷株式會社本社分工場

發行所 東京市小石川區久堅町七十四番地
フレーベル會

本會總會

一、十月十八日(第三日曜日)午後一時より

二、東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て

一、順序

一、唱歌 (君ケ代)

二、會長挨拶

三、會務報告

四、議事

五、演說

▲我國及歐米の玩具製造に就て

▲幼稚園教育雜感

六、懇談、茶菓

七、閉會

農商務書記官

東京音樂學校長

鶴見左吉雄氏

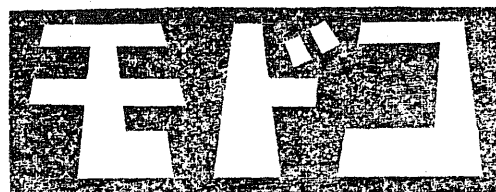
湯原元一氏

十月

フレイブル會

○當日の演說聽講は會員外の諸君をも歡迎し多數御來會を希望す

顧問高島平三郎先生



一冊五錢
郵税五分
金六錢
五錢
十錢
圓二拾
壹圓

定價

畫雜誌

綺麗な
面白い
教育的

日本一

每月一回

モドコ社發行

東京市小石川區林町五七
振替東京二七九六三

一般の教育が疾病に及ぼす影響

醫學士 石 塚 保 吉

一、迷信について

東京には非常に迷信が多いといふ事は争はれない事實です。相當に教育があつて、此人にしてと思ふやうなのが、或は方角がわるいとか、水天宮様のお札をのむとか或はなめくちを鹽でもんで食べるとか、随分奇抜な事を實行して居るのがあります。かういふ迷信に捕はれても害がなければ別に差支ないやうなものです。それが爲めに大切な病人を死地に陥れるやうな事になると黙つて居られない仕義になります。その外風説に惱まされるのも少くないやうです。素人の説を直に信仰してかゝるのです、水治法がよいと云へば一も二もなくそれに賛成してしまつて、おぢいさんでも、

おばあさんでも、大人も子供も凡べて水治法をやる、紅療法可なりと云へは忽ちそこに蝸集する、曹鹽療法効果ありと稱へられると百病をそこへもち込むといふ事が行はれて居るのです。そんな事をして子供の最注意すべき食物を過つて遂に死に至らしむるなどの實例をしばしば目撃させられるのです。つまり人のいふ事に迷はされるのです。風説の迷信とでもいふのでせう。それで眞違ひがなければよいが、眞違つた事實を澤山見せられるから、迷信に捕へられるといふ事はお氣の毒な事と思ひます。

二、醫者に就ての知識

東京の人は非常に澤山の醫者を自分の近處にお

いておかれる便宜があります。一里四方に一人位の醫者をもつて居る地方に比べると、よほど幸福であります。しかし一得あれば一失で、同時に東京の人はそれが爲めに或は不幸を醸して居るやうな事がありはしないかと思ふ。需用供給の理でどうも醫者が粗末にせられるやうである。撰り取り御隨意であるからまづ撰擇に迷ふのです。其結果かたつばしから醫者をかへてあるくといふのがあつた朝晝晩と三度に三ヶ所をあるいてくるやうなのがある。しかも可なり教育もありさうな立派な人が青山中の醫者は皆試験して來たなどと大得意で居られるのがある。しかもさうやつて居る中に、取りかへしのつかない不幸が起つて來る。轉々して居る間始終治療の方針がかはつて、病人がつまらぬおもちやになるやうな結果になります。殊に子供などは藥の影響を受けやすく、最初の一步で運命が定められる位のものであるから、方々検査してあるくのは眞に危険な事になります。

先達て私の宅へ診察を受けにきた一人の患者は其後二ヶ月ばかりかゝつて東京中を巡回してゐたのださうです。人がよいといふまゝにどこもかしこも遍歴して遂に瀕死の状態になつて再び私の處へもどつて來ました。再三再四斷つたがきかないで今入院中ですが、さういふ人は醫者の方から考へてあまりうれしいものでない。漂浪療法はもうやめにして今度は落ちつくといふのだから、まあいゝのですが、次から次へと移轉してあるくといふのは、まあ醫者は弄ばれて居るやうな感じがする、弄ばれるといふ事がわかつて居て、全力をそゝぐといふ事はなかゝむづかしい事です。それを患者の方で平氣ですまして、却つて得意で居るやうなのは、どうあらうかと思はれます。

三、醫者の撰擇

醫者は東京に數へ切れぬほど澤山にあつて、名と看板を出して居るのがあつたから、其中から一番

よいのを撰り取りする事はわるい事ではない、最大切な事です。それで病氣になつてから、あれかこれかと方々さまようてあるくやうな事なく、平生からよく研究して信賴すべき一人の醫者を定めておくがよろしい。一旦其人と定めた以上は、いろいろとかへて見たりしないで、全體の責任を其人に負はせるやうにするが最よいのです。横着に試験的にやつて來る人は、今日はこちらで、明日はあちらといふ鹽梅であるから、自然醫者のもつ責任は輕くなるわけであるが、全責任を負はせられた時は一番苦しいのです。どんな事をしてもなさうとします、自分にわからない事は他の専門家にきくとか、あくまで其責任を全うしやうとする職業の一部を犠牲にしても其人の爲めにはたかうと云ふ氣になるものです。さうすると治療の方針も一定して居て、萬一少し位間違ひもあつても、まるでわからない初診の醫者のやるやうな眞違ひは起らないわけです。

四、専門について

撰擇については、専門といふ事に重きをおかなければなりません。たとへば小兒科専門達は小兒の病氣ばかり研究して居ます。その小兒科醫が子供の患者を扱つて居る場合に見當ちがひの内科醫或は外科醫、甚だしきは軍醫などを立ちあひに呼ぶなどは常識のある沙汰とは云はれません。或る病院で院長は外科専門で、副院長が内科専門でやつて居ると、内科の患者が是非一度院長さんに診ていたいきたいと歎願したといふやうな話もあるが、これらもわからん屋のたぐひに入れられなければなりません。醫學の研究は非常に緻密になつて、専門くゝにわかれて居るのであるから、此の區別を明に知つて醫者の撰擇をする必要があります。どれもこれも同じものゝやうに考へて居ては過つて不幸の種を蒔くやうな事になります。

五、子供自身の教育の

治療に及ぼす影響

以上は両親の心得でありますが、子供自身の教育が治療に及ぼす影響も甚だ少くありません。常に家庭でよく教育せられて、親の言ふ事をすなほにきいて物のわかりのよい子は、治療の効果が非常に良好です。殊に腸胃の病氣などになると、子供の教育の如何は治療上に大關係をもちます。減食療法や饑餓療法などを行ふ場合にすなほに育てられて居る子供は、立派に其効を奏する事が出来るが、きかない子になるとおもゆはのまない、ソップはきらひ、吸入はいやくで手がつけれない。三日三晩何も食べない、やむを得ずパンを食べて危険に陥ると云ふやうな事になる。ふだん氣をつけて、相當に両親のいふ事をきくやうに育てゝおかないと非常に困る事が出来て來ます。

六、両親の服従

親の方で醫者のいふ事を守るのと、守らぬのとがあつて、それが子供の病氣治療の上に少からぬ影響を及ぼすやうである。醫者のいふ通りにやつて居るやうな顔をして居て内處で物をやるとか、醫者には隠していろんな事をやつて見るとか云ふやうな事をする人に限つて治療が困難になります。主治醫には絶體に服従するといふ事にしないと病氣はなほりにくいやうです。

七、信仰のある人は

成績がよい

高田病院できいて見ると、宗教を信じて居る人はとかく成績がよいといふ事です。終極の安心がついて居て運を天に任せて、とにかく出来るだけの事はやつて見ると云ふのと、いたづらに煩悶苦惱するのと其間の違ひは甚だ少くないさうであり

ます。心を安靜にもつといふ事は、病氣治療の上によほど大切な事であります。

醫者の種類も平生真面目に研究しておいて、一旦其人と定めたならば、安心してその人に絶體の信任をおくのがよいやうです。醫者の方から云つ

少年俳人

我と來て遊べや親のない雀

は大俳人一茶が六歳の彌太郎の時の吟咏である。

一茶の句に就いては先年倉橋氏が本誌に精しく述べられた通りである。

兒童の藝術と云ふ問題は素より其範圍が甚だ廣い。今は俳句にこの問題を限つて、一切學問上の詮義立は抜きにして我邦の少年俳人の面白い作を少しばかり紹介して見たいと思ふ。

犬と猿世の中よかれ酉の年

ても、全然信任せられて、生死ともに任せるといはれた時は最苦しい。如何なるものを犠牲に供してもなほさなくてはならぬと思ひます。そして、多くは其方が成績がよいやうです。

若き父

は芭蕉が十四歳の時の作である。

井の端の櫻あぶなし酒の酔

は誰知らぬ人のない十三歳の時の秋色女の吟であり。

雪の朝二の字／＼の下駄の跡

が捨世六歳の時の作である事を思へば詩才遙かに秋色を凌いだ事が明かである。

發句して笑はれにける今日の月

は蕉門の丈草が九歳の句である。

來い／＼と言へど螢は飛んで行く

は鬼貫の八歳の傑作で、この人の風格を子供の時からしのばせる。

正月が來たうま／＼をおれも喰はう

は也有が唯一の門人たる晋路が二歳の時の作とある。但しこれは註釋が要る。『今年(明和五年)戊子の元旦、晋に對して正月が來たぞよ、歳旦の句せぬかと戯れければ、晋路「正月が來た」と云ふ所へ雜煮をすゑければ、晋路「うま／＼をおれも喰を」と云ふ。彼が詞を筆にうつして之を見れば……』と有也の俳友堀田六林の日記に出て居る。

凡董の門人、京の大丸の分家下村春坡と云ふ人の長子に米松(長じて春花と號した人、二十五歳で歿した)と云ふ子供があつた。

竹の子やとらずに置けば竹になる

は其八歳の時の名吟である。猶この少年には

鶯や鳥屋の裏に鳴いて居る

萬歳に初めて來たり隣の子

こちを見て餘所にもあづかる いかのほり 風

この句があつた。嘗て江戸へ赴く父の首途を見送つて、

不二の山遠く見えてもねきにあり

同じ凡董門人の山田之兮の子も句を咏み、且つ

同じ少年俳人米松と句をやりとりをして居る。 之兮男七歳 龜 兮

あの梅の咲いたは乳母の在所哉

鳥追や貌かほ観かるゝ女聲

うれしさよ梅見る人の數へ入る

初午やどこへ行つても小豆飯

五六町野道いづれば鐘かすむ

萬歳や酒もよくなる餅くらひ 春坡男 同 松 鳥

よくあげておとなの渡す風 いかのほり 同 松

切風を追ひつきかぬるちまた哉

春駒や深く乗込む臺所

「父君の東へ下り給ふ後米松子の許へ遣はす」とて 之兮男 同 松

留主の戸やおとづれ薫る冬の梅 龜 兮 同 松

春と土産をまつ松の宿 春坡男 末 松

これから句集の中からいろいろ取り出して御見
にかける。先づ、お茶の水の幼稚園の藤棚に因ん
で、「太夫櫻」(延寶八年)の中から、

見に行くや長の道筋藤の花 七歳 き く

去來が妹千代を伴ふて伊勢參宮をした時の「伊
勢紀行」(貞享一年)から、十三歳の少女詩人の作
を紹介する。

伊勢迄のよき道づれよ今朝の雁

八月や矢橋へ渡る人とめん

霧よりはこなたへ廣し鴛にまの海

長き夜も旅草臥くたびれに寐られけり

秋の夜も寐ならふ旅の宿り哉

小鳥さへ渡らぬ程の深山かな

萩すゝき山路を出づる笠おもし

泊りく稲する唄もかはりけり

芝草の露もかちぬる育ちかな

曉の三日月見たる途すがら

水むすぶ手ぬぐふばかり秋の風

見るくも帆數云ひけり霧の海

「續虛栗」(貞享四年)の千子の

大内の飾り拜まん星祭り

は人の好く知つて居る句である、

大淀三千風の記行「日本行脚文集」(文祿二年)よ

り

三千風の句は早咲のかをり哉 十一歳 小柳

夕ぐれは何國いづこの鳴が味あじかりし 淨林子息 友巳

鹿か麤しすがた四方の落穂おとしに肥えたりし 同二子 吟松

五十路して知るや故郷ふるさとの秋の暮 同三子 椿葉

日本やまとめぐり異國は秋の寢覺ねかくにぞ 淨園子息 左柳

看荒しぬ菅笠はたゝ秋の風 同二子 素柳

蟬々となく拔殻はくかくはからくと 左柳子息 富柳

絲柳いといろはにほそきみちの風 同二子 一柳

みち風の秋の草の霜さらし 名村子 玉正

面白や歌も發句に歸り花 童古要 勝女

茶に寄せて胡瓜きゅうりを譽ほめる休み哉 四宮氏 素林

坊だんさまに連れ行く梅も東風こちからそ 八歳 二水

春の行く草鞋跡見ん天津道子吹氏常也

「其袋」(元祿三年)より

鶯や手習の窓おもしろき十一歳調武子

日ぐらしの聲ぞ涙の親の里少年彌五郎

「猿蓑」(元祿四年)より

七夕やあまり急がば轉ぶべし伊賀少年杜若

「卯辰集」(元祿四年)より

藪の中の薺なづなは人にあはぬなり(牧童の女)けん

絲きれて紙鳶は白根を行方哉山山中少人桃葉

此は扱行けどもく花の山松松任十歳春之

根ながらや櫻のせ行く渡し舟少年桃英

牡丹散り芍藥開く旦あしたかな少人桃英

夕暮や早稻立ちのびて人見サ七尾少人松鶴

高燈籠松の木の間に見ゆる哉九歳長皿

南天の枝にうつらふ月夜哉五歳長皿

「俳諧袋」(元祿四年)より

未明あけがたの曇りを春の形哉十一歳金鈴

「有磯海」(元祿八年)より

嵐山猿のつら打つ栗のいが野明息小五郎

花散りて二日をうれぬ野原哉嵯峨農市

「錦繡綴」(元祿十年)より

小僧ども庭に出でけり芥子坊主少年角上

英國の幼稚園研究(つらき)

〓(マレー氏による)〓

紹介生

英國の幼稚園は極く初期から小學校の課程の不
足を補ふことに努めてゐた。幼稚園の主眼として

ゐるものは常に子供そのものであつた、子供の自
然の發達及び子供の然自の元氣であつた、故に幼

稚園の先生の眞價は子供の生活を理解してそれに同情する點に存する。

羅馬は一日にして成らずといふ譬の通り幼稚園も亦その精神を發揮することが出来るまでには外的に幾多の變化を経ねばならなかつたのである。

フレーベル時代には未だ大體に於て心理學は生理學や哲學から分離してはゐなかつた、而してフレーベルが是等哲學系の人々の著作に係る心理學書を幾何まで讀んでゐたかは疑問である。併しフレーベルは神秘的な半面を持つてゐると同時に一方稀有なる心理的洞察力を持つてゐて今尙一般に承諾せらるゝ心理學の定理を獨創することが出来たのである。

フレーベルは世人の眼を子供の上に注がしめた而して子供の發達は圓滿でなければならぬ、情と意を枉げてまで智を授くる必要はないと説いた。

フレーベルは感官の訓練のために彼の恩物を創始したのではなくて精神と肉體との活動を促す材

料としてゐる。

大體から云つてこの恩物は結構なものである、併しこれはフレーベルが母親や子供の日常生活を見て思ひ付いたものなのである。

フレーベルは彼の恩物を重要視し過ぎた傾きがある。子供が彼の恩物から得る數學的の觀念をあまり大きく見積り過ぎたのである。

フレーベルは幼兒の遊ぶ玩具を見て之を組織立てたなら一層効果が増すであらうと考へた、併し遊戲といふことは却々デリケートな問題でさう思ひ通りに旨く行くものではない。

フレーベルの多くの後輩は大抵彼の眞義を解し得ず徒らに彼の説を擔ぎ上げた氣味がある。

ドイツケンスはフレーベルの説をマールンホルツ夫人から傳へられたのでフレーベルの眞義を解してゐた、彼は現今の多くの幼稚園當局者よりも遙かに進んだ考へを持つてゐたのである、ドイツケンスの書いたものから次の一節を抜書してみる

それならば又フレーベルは決して彼の教育をすべての氣任せな運動を禁制する課程に變へることを望まないといふことが理解されなければならぬ。子供の教育の過半は氣任せな運動の中に存するのである。如何なる方向に進んだら最も有益であるかを示し、自然の供給する啓示に従つて心の成長を助けることは如何によいことであるかを示すのが彼の目的である。この點に於て健全なエネルギーを禁制するといふこと程フレーベルの企畫に妨げをなすものはない。

目隠し、ふざけ騒ぎ、判じ物、お伽話等すべて子供の機能を働かしむるものは皆フレーベルの教育法の一部として見らるべきである。……常に子供の上に眼を注いで居る自然は「我々もつと子供に活動して貰ひたい、それは我々の役に立つ」と叫んでゐる。

幼稚園の金言はSelf-activity セルフ・アクティビティ といふことである。フレーベルの教育法を採り用ゐて形式に駛つた嫌

ひもないではないが彼の獨創的の分子を多分に取り入れた、又彼の力説した自然に對する子供の興味も出来る限り力を入れて養成された。お話や唱歌も彼が望んだ程手際よくは行かなかつたが兎に角行はれてゐた。

けれどもやぐざな幼稚園や貧弱な先生が増えて來ると幼稚園教育も頗る見榮えがしないものとなる。その上未だ一般の人々は扱て置き教育に携つてゐる人々でさへ子供の自然の元氣は眞の教育的な結果であるといふことが充分わかつてゐなかつた。斯ういふ譯だから先生が誤つた考へを抱いてゐて單なる遊戲の道具を緩漫な實物教育の材料と心得るのも無理はない。

然るにエレメンタリー、スクール、リコード誌上に於てデイウエイ教授がフレーベルの教育法に就て同情ある理解ある記事を發表して以來幼稚園教育といふものが重く見られるやうになり、英國の幼稚園が形式的な束縛と半可通な眞理から脱す

るやうにもなつた。

英國に於ては如何なる運動に於ても保守主義の人々があると同時に進歩主義の人々がある。英國の幼稚園當事者の中には伯林なるベスタロッツ、フレーベル院（一八七三年設立）の趣旨に賛同してゐる者が澤山ある。ベスタロッツ、フレーベル院の仕事は「教育の基礎は生活そのものであつて熟練でもなければ本でもない」といふベスタロッツの主義に基いて行ふのであるがフレーベルも亦同様の趣意をあらゆる方法であらゆる場所で説いたのである。

家族生活といふことに力瘤を入れてゐたベスタロッツ、フレーベル院の人々は幼稚園の先生は家事に精通してゐてその生徒に家事の教育を與ふべきであると信じてゐた。

一八九九年ベスタロッツ、フレーベル院で二十五年間も働いてゐたシエベル嬢は伯林を去つて倫敦へ來た、これはセザメ俱樂部の幹旋である、而

して廳がて「セザメ幼稚園家庭教育院」なる名稱の下にシエベル嬢の手腕を俟つべき教育機關がリボン侯爵夫人によつて開設された。

英國の現今の最良の幼稚園では生徒に極く自然な方法を取つて彼等が家庭に於て見て來たことを人形や人形の家を使つたり指や動作や砂盆に繪を描くことやによつて再び表現させる、それから又動物や植物を愛護するやうに教へられる。少し大きい生徒になると小さい公衆に對して義務を持つことゝなる、けれども彼等の興味は擴大される、彼等は目に見ゆるもの手に觸るゝものが悉く何處から來たのか又如何にして作られたのかといふことを知りたがるのである。實物教示の代りに彼等は自身で經驗したり發明したりするやうに導かれる。彼等は簡単な材料を用ゐて贈物をしたり玩具を拵へたりする。

綺麗に几帳面に折つたり切抜いたりして無用なものを拵へるといふことは漸次その跡を斷つて行

く。

スタンレイ博士の「砂堆の話」のやうな研究を讀んでから幼稚園の先生達はフレーベルが「人の教育」で説かんとしてゐたことや又彼がカイルハウで實際に行つたことやを充分に確めることが出来るやうになつて來た。

フレーベルは個性の發達は種族の個性に伴ふといふことをコントやハーバート、スベンサーよりも前に唱へてゐた、而してデイウエイ教授は疾にフレーベルの最要の定説の一部を認めて既に之を實際に行うてゐる。

收穫に關する形式的な授業の代りに現今では生徒が自ら麥を刈つたり吹き分けたり臼で挽いたり篩ひ分けたりする、代り代りに捏粉ねうこをこねて自分達のパンを拵へる、而して「自製のパン」を持つて大喜びで家へ歸るのである。

更に大きい生徒になると粗末な焼物位は作るし極く簡單な織機を作つて自分達の敷物や人形の毛

氈位を織り出す。

以上は子供の拵へるものであるから勿論立派に仕上がる譯はないが子供の思想や獨創力すうくりたいはよく現れてゐる。而してこの目的のある活動のために生徒は未來の自制の要素たるべき心意の集中、體力の統御を得るのである。

併し英國の幼稚園全體が同一歩調をとつて斯くまでに立派な教育を施してゐるのではない、今でも尙或る地方では整然たる態度や子供らしからざる正確を子供に強ひて子供を機械になし了つてゐる所も尠くないのである。

近頃の幼稚園で行はれることには非常に價值ある興味が多くなつた。

形式的な自然教育は子供には適さないが家畜を可愛がつたり植木を大切にしたりすることは子供にはよい仕事である、動物を世話したり一緒に遊んだり、種子や球根の大きくなるのを番したりするのは愉快なものである。

音樂やリズムに對する興味は唱歌や子守唄や簡單なよい詩の句や樂音に耳を傾げることによつて養はれる。審美的傾向も自然との結合、子供の繪畫や色彩に對する快感の増すに従つて促進される美術の規則に従つて進んで行く古風な繪畫教授法はなくなつて了ひ今では子供が自由に描いたり彩つたり寫生したりするのである、

幼稚園ではお話といふこともよく行はれる、併し昔のやうに話の種類選擇に愚かしい制限は設

雜 纂

△ベルリンの幼者保護

法學博士 小河 滋次 郎氏

今は敵國となりぬれど、獨逸の首都柏林は、實質の良否は兎も角、近代的救濟事業の施設に就て殆んど其總てを網羅し得て餘す所なしと稱せらるゝ所なり、此柏林の現況を知

けなくなつた。

現今では國民フレーベル協會のお蔭で幼い子供にも文學は眞價を保ち得るといふことが分りかけて來た。幼稚園が教育を自發的な活動の上に根ざさしめこれを合理的な結果のみならず精神的な結果に導いて行くことが出来るやうになつたのは價値ある文學に職由するものと看做さなければならぬ。

るは文明都市の斯業を詳かにするの上に利便の少からざるべきを信ず、他山の石亦た以て玉を磨くべきに非ずや

幼者保護は救濟事業の出發點とも中心點とも稱すべきものにして特に近年に至り此方面に發達進歩の著しきものを見る所なり。此に謂ゆる幼者とは、乳兒、幼兒、少年及び青年等の、上みは丁年

期に届らんとするまでの總ての者を包括したるものと知るべし。

甲 乳兒

(1) 乳兒の爲に適當なる里親を求めんと欲する者は警視廳に就て之が紹介を請ふことを得べし。

警視廳第二部の内に里親紹介局を設けあり。

(2) **市立乳兒保護所** 某個人の寄附金より成立したるものに係り、乳兒を有する貧困なる母親及里親の爲に、育兒殊に醫療に關する無料の相談に與かることを以て主務となす。必要を認むる者には、特に八日以内の限度に於て乳及哺乳器を給與し、尙ほ母に對し哺育に必要な補助金を交附することあるべし、市内に七箇所^〇の保護局^〇を散設し、總て主任醫を以て局長となす。其實主任醫の自宅即ち保護局なるの例にして、多くは毎日午後二時乃至四時と云ふが如き時間を定めて専ら其事務に充つるの方法を取るもの、如し。保護局に於ては時々講演會を開き、一般婦

人のために乳兒哺育の心得を説示するところあり。

最近の調査に依れば一年間に保護を加へたる

乳兒一三、二三人、哺育料を交付したる婦人五、〇五〇人にして此金額九五八七六マルク。全乳二七〇六七二リートル、薄乳七九三三リートルなり。

(3) **兒童保護協會** 三歳以下の兒童にして其親が十分なる養育を加ふる能はざる事情ある場合に於て、之に適當なる家庭を選定して完全なる育養保護の恵に浴せしむることを目的とす。里親は協會に於て常に周到なる監督を加へ、里親に對して協會より月頭二十マルクの養育料を支出す。

(4) **伯林保育協會**（ベルリ―ネル・クリツベンフエルアイン）本會のことに就ては本誌第一卷第三號一七頁以下に詳述する所あるを以て之を省く。

(5) 哺育園(キンデルアツジール) 親の死亡其他

の不幸なる事情の爲に窮境に陥れる一歳未満の幼児をば適當なる養育の場所の見出さるゝまでの間、一時的收容を爲すを以て目的とす。此外尙ほ本園の事業として幼児の爲に適當なる養育の場所を斡旋する等前述の措置に關する助力を與へ且つ已むを得ざる必要ありと認むる場合には乳兒と共に一時其母親をも收容し更に之が將來の生業に就ても相當を加ふるものあるものとす。

(6) 乳兒ホーム(ライグリンクスハイム) 正配者

又は保護者なき母親及び其幼兒、妊婦並に母親なき乳兒等をば三個月以内收容保護することを以て目的とす。母親に對しては育児法の外、尙將來の生計に便せしむるが爲に裁縫、割烹、洗濯、理髮等の科目に就て講習を受けしむべし。乳兒ホームに附屬して母親ホームなるものあり。勞働婦女の其子を携帶して此所に宿泊する

ことを許す。但宿料として月額五マルクの外其子の養育費として毎月二十マルクを負擔せざるべからず。

此施設物を要するに私生兒及び其母親の保護を以て主たる目的となすものゝ如し。佛、露、奧、伊等のカトリック宗系に屬する諸國に於ては私生兒保護機關として棄兒院(フィンデルハウス)即ち親の何人たるを知らるゝことなくして密かに其子を院的保護に寄托するのシステムを行ふ所ありと雖も、獨逸に於ては到る所に殆ど其片影をも認めずと謂ふも可なり。蓋し此棄兒院の制は實に世の風教に對して不良の影響あるを必然とするのみならず乳兒を生母の懷より隔れしめて不自然なる哺育を行ふことの、其健康の爲めにまた非常の弊害あるを免れざるの事實を實際したる所あればなり。此に述べたるが如き私生兒と共に其母親をも併せ收容保護するの組織は英國に於て盛んに行はるゝを見る所なり獨逸

他の地方にて育嬰院（フエルズルグングスハウス）の名を行はるゝ所のものは此に所謂乳兒ホームなるものと殆んど全く其實質を同ふするものなりと認むるを得べし。

(7) 乳兒死亡防止アウグスト・ウ井クトリヤ皇后學會

現獨逸皇后陛下の名を冠したる所以のものは本會成立の動機が陛下の聖意に基きたると且つ皇室の助成に頼る所の最も多きものであるを以てなり。本會は主として科學的に乳兒死亡防止の方法を研究調査するを以て目的とし其事業として現に經營しつゝある所のものは妊婦の收容、分娩及び産婦の保護、母親ホーム、乳兒保護所等のこと即ち是れなり。

(8) 乳兒保護に關する國費助成金五萬馬克 市役所内育兒課にて之を管理し、伯林に於ける乳兒

死亡率の減少を計るの目的を以て専ら貧困なる母親の生計を補助するの費用に之を充つ。

幼者保護事業の先驅たるべき乳兒保護のことに就

て、我が大阪には今日尙ほ之が専門の機關として見るべきものなきは遺憾と謂ふべし。

乙 幼兒

幼兒とは當歲以上學齡未滿の兒童を指して之を稱す。

(1) 乳兒保護所（クラインキンデル・ベワールアン

スタルテン）此事業を經營するが爲めに設けら

れたる團體のみにても、伯林市内に其數九個あり。保護所の數は市の北部に三十、北東部に六、

北西部に五、南部に三、南東部に六、南西部に

五、東部に六、西部に五、中央部に三、總計六十

九個所の多きに達す。各團體中最も有力なるは

伯林敎會團の創立に係るもの及び皇室保護の下

にある幼兒保護所、助成協會の二者にして前者は

二十三個所、後者は三十一個所の保護所を經營

せり。

幼者保護所なるものは、親が家庭外の業務に就くが爲に完全に監護の任務を盡す能はざる事

情ある學齡未滿の幼兒を晝間に限り收容保護するの場所にして、中には無月謝なるものもあるも多くは五十ヘンニヒ乃至一マルクの月謝を徴収す。三食の外尙ほ間食をも給するが多く、一食のみなるは寧ろ除外例に屬す、稀れに無料の向もありと雖も多くは食料として別に一日十五ペシニヒ乃至四十ペシニヒ位を徴収するものゝ如し。

此外に『ワルテシウレー』即ち子守學校なる名を有するものもあれども實質は殆んど幼兒保護所と異なる所なし。我が大阪市内に保育所なる名を以て經營せられつゝある所のものはすべて此に所謂幼兒保護所なるものと其内容を同ふすと謂ふことを得べし。外國に於ける斯業の多くが宗教家の經營に成り若くは少くも宗教家たる男女の手に由て宗教的に管理せられつゝあるに反して我國にあつては寧ろ宗教の色彩を有するものゝ稀有に屬するの事實なり、我が佛教家の中には免囚とか言へる大

きなる赭衣の客の爲めに寺門を開くを辭せざるべしと口にする者の少からざるに拘はらず可憐なる眞の赤ん坊の爲めには多くは即ち『此内に入るべからず』の制札を立て、以て之を門外に驅逐するの態度に出でんとす事の本来を辨へざるも亦た甚しからずや。國民教化の目的の上より之を言ふも將た靈的機關たる寺院存在の意義を發揮する上より之を見るも、我が佛教徒の如きが率先以て幼者保護殊に乳兒、學齡未滿兒等の救濟的教養に任ずること最も事宜を得たるものたらずんばあらざるなり。我が大阪市内に於ける十個所の保育所の内、宗教的に經營せられつゝあるものは、三個所にして、而して其佛教系に屬し且つ現に寺院の一部を利用してする所のものは眞言派三好賢照師によつて昨年初冬の頃より開始せられたる不動寺保育所の一個所に過ぎず。

(2) 幼稚園

單にキンデルガルテンと稱するものゝ外にフ

ラルクス・キンデルガルテン即ち庶民幼稚園と
呼ぶものあり、實質に於て敢て異なる所あるに非
ざるも後者の方は總て下層子弟の收容を目的と
するものなるが故に、此點に於て特に救済の意
義に富めるの事實を認むることを得べし、尤も
或る學者が、幼稚園は教育的に豫期の効果を收
むる能はざりしに反して、救済保護の意味に於
ては大なる成效を擧ぐるに至りたることを疑は
ずと謂へるが如く、外國に於ける謂ゆる幼稚園
なるものは、設令庶民の冠詞を用ひざるものに
しても、我國に於けるが如く専ら中流以上ノ寧
ろより多く上流子弟の爲めにするものとは全く
其趣を異にし、少くも中流以下を本位として且
つ救済保護の意味に於て活躍發展しつつあるを
認むる所なり。

柏林市内にて庶民幼稚園を經營せる重なる團體
は

(い) 柏林フレーベル協會 三個所の庶民幼稚園を

有す。二歳半乃至六歳の幼者にして其親の家庭
外に就業する者に限りて收容を許す。開所時間
は午前八時乃至午後七時とす。月謝五十邊尼乃
至一馬克五十邊尼、此外に辨當及び間食代とし
て毎日十乃至十五邊尼を徴收す。

(ろ) 柏林庶民幼稚園協會 六個所の庶民幼稚園を
有す。三歳乃至六歳の貧兒を收容するを目的と
なすも、寡婦及び家庭外の生業に従事する者の
幼兒は成べく之を先取するの例なり。開所時間
は夏期午前七時乃至午後七時、冬期午前八時乃
至午後七時。月謝を徴せず。辨當代として十邊
尼牛乳代として五邊尼を徴すべきも、赤貧者に
は無料たらしむるの外尙ほ衣類學用品等を給與
することあるべし。

(は) ベスタロツチ・フレーベルハウス 二個所
の庶民幼稚園を有す。開所時間午前九時乃至十
二時月謝五十邊尼乃至三馬克、辨當料十邊尼牛
乳代五邊尼。

此他に尙ほ團體の數十三四あり。中には専ら猶太宗又は加督力宗の幼兒の爲めにのみするもの、或は孤兒に限るもの若くはまた聾啞兒の收容を目的とするものあり。各團體の經營に係る救濟的意味に於ての幼稚園は市内を通じて約二十五六個所を數ふべしと云ふ。我が大阪市内には公私を併せて約二十七八の幼稚園ありとのことなるも、謂ゆる庶民幼稚園として救濟的に活動しつゝあるものは幾んど絶無なりと云ふも可なり。

(3) 幼兒遊園

都會兒殊に遊戲年齡に在る幼者の爲めに市街適當の場所に多くの小公園即ち兒童遊園を設くることは時代の必要に促されて各國到る所に盛んに之が經營に着手しつゝあるを見る次第なるが伯林はさすがに此企てに先鞭を着けたり（一八八五年）と稱せらるゝの名に背かず、其施設の頗る普及するものあるを見る所なり。近年に於ては更に『フ・アミ・リット・ガルテン』と稱し、家族的

遊園とも譯すべき一層小規模なる公有又は私有の空地をば幼兒嬉遊の場所に提供する運動の盛んに行はるゝの傾向あるを見るに至れり。我が大阪には中之島天王寺公園等の一隅に型ばかりの兒童運動場の設けあるを見るも、謂ゆるプレーグラウンドとしては何等の價値なしと言ふも可なり。運動場としての格段なる設備なきも、市の中樞たる船場方面の本願寺難波別院が、附近の兒童の爲めに其構内を開放しつゝある實況の如きは正しく幼兒遊園の理想を充たして遺憾なしと謂ふことを得べし。（救濟研究第二卷第八號生江氏の論文、東京兒童運動場設置期成會の出版物等參照）（『救濟研究』第二卷第九號より）

△幼兒の訓練

安井哲子氏

私が初めて英國に参りまして、彼地の學生と共に寄宿舎生活を致しました折に最深く感じた事は彼等の自治的精神が能く發達して居る事でありました。其後校長が生徒を指導せらるゝ方法を觀察したり、或は又自分自身が校長と共に諸國へ旅行をした場合に、折に觸れ時に應じて指導を受けた経験から、訓練といふ事に非常に興味を有ち、其方法に注意を拂ふやうになりました。かくて彼地に滞在中教育ある母親が如何にして其兒童を訓練するか、又高等女學校程度の善良な學校で教師が如何にして其生徒を指導するかを研究するに及んで其當時自分自身が吾國の學校で受けた訓練法と大なる差違があるのに氣が付く様になりました。かゝる経験は、私をして、眞の訓練は自主の人を造るにあるのであるといふ事を深く信ぜしめたの

であります。然るに近頃モンテッソーリに關する教育書を研究しまして、益此自信を堅くするに至つたのであります。

訓練の目的

訓練の目的は一言にて申せば、自己を支配し得る人、即ち獨立自治の人を造るのであります。故に其目的は訓練を受ける兒童の一生に渡つた遠い所にあるので單に幼稚園とか小學校とか言ふやうな限られた場處に於て、限られた時間に收むる一時的の効果を目的とせぬのであります。吾々は自分が曾て如何なる訓練を受けたかを追想して見ますと、之れに依つて自分を支配する力を充分に養はれたやうに思はれません。即ち先生に依頼し、其命令に服従し、校則を守らんと努めた事は、學生時代の生活には安全と利益とを與へたに相違ありませんけれども、獨立的自治的の生活をなすべき基礎とはなつて居らぬのであります。

モンテッソーリの云ふやうに、訓練は兒童の自由

を基礎として行はねばならぬものと信じます。勿論幼稚園の幼児と小學校の兒童と中等學校の生徒とに對しては、同じく彼等の自由を尊重するとし、まして、心身發達の相違上其取扱ひに差違のあることを免れません。併しながら自由を無視した教育は、幼稚園の幼児と中等學校の生徒との取扱ひに大なる差違がなく、従つて青年期に達しても自由に對する眞の愉快と、之れに基づける眞の獨立と、自己に對する責任とを眞に意識することが出來ぬのであります。換言すれば、かゝる種類の教育は、生徒をして自主の人となす力を有たぬといふことになるのであります。

自由の眞意を了解する困難

自分自身が能く自由の眞意を解し、之れを愛する者でなければ、他人の自由を尊重することが出來ません。殊に吾國の女子は、從來自治的の教育を受けぬ者が多く、従つて自己の人格を重ずるとか精神的の獨立を喜ぶとかいふやうな經驗を得て

居りませんので、幼児の自由尊重といふやうなことを申すと、只子供を放置するのであるといふやうに誤解する危険があります。曾て或方のお話に、モンテッソーリ主義の訓練法を講習會で聞いた結果、某幼稚園の園長は其保姆が兒童に不親切になつて來たと歎いて居らるると語られました。眞に兒童本位の教育を施さうと思ふならば、先自身に兒童を觀察して、兒童といふ者は如何なる者であるかを研究することが必要であります。そして兒童を正しく觀察するには、心から彼等を愛敬せねばならぬのみならず。其活動に對して、充分なる研究的興味を有つて居らねばならぬと思ひます。そこで若し其觀察者が一般人類に對して自然の愛情と敬意とを有つて居るならば、兒童の自由尊重を誤解するやうなことなく、又研究的興味を有つて兒童を觀察するならば、自然に彼等の自發活動を尊敬するやうになるのであります。

親切の取扱と不親切の取扱

前申した園長さんのお歎きのやうに、自由主義の訓練は果して保母をして兒童を不親切に取扱はしむる恐れがあるのでありませうか。其れは親切といふ意味を園長さんが誤解されて居るか、或は又保母が自由といふ意味を誤解されて居るかどうかであります。親切な取扱とは兒童自然の傾向を充分觀察して、彼等の利益になるやうに思慮ある取扱をすることでありませう。故に自分で靴の紐が結べる子供に之れを結んでやつたり、自分でお湯の注げる子供に之れを注いでやつたり、或は自分で起きられる子供を起こしてやつたりすること、決して親切ではありません。之れは兒童を知らぬ無學な女中や、子供に溺愛して居る祖母さんなどの爲ることでありませう。兒童に出来る事を自らさせるには、之れをしてやるよりも餘程多くの忍耐を要します。併しながら兒童が若し母親からも保母からも、又其召使からも、自分に出来る事は自分ですといふ訓練を與へられるならば、之

れが其兒童の一生を通じての習慣となるのみならず、之れに依つて獨立の精神が養はるゝのであります。訓練の深い意味は此處に存するのであると思ひます。然るに親や保母が自分の便宜上兒童自身に爲し得る事を爲し與へるときには、兒童には却つて不親切な取扱となるのであります。

兒童が自分の力を自由に用ひた結果として得る満足は實に尊い感であります。モンテッソーリは兒童を充分に了解し得ざる教師が徒らに兒童に世話をやいて親切なる行爲であるかのやうに誤解する面白い實例を挙げました。

或日モンテッソーリの『兒童の家』で多くの子供が集つて水に玩具を浮かべて遊んで居ました。其時極幼稚な一人の兒童があつて、自分も亦他の子供と共に其玩具を見たいのであるけれども、力が弱くて其大勢の子供を押し分けて前に進むことが出来ませんでした、困つた顔をして周圍を見て居ましたが、其處に一つの椅子が在るのを見出だ

して、之れを持つて來て其上に攀じ上つて其れを見やうとしました。其時の子供の顔！ 何ともいへぬ輝きに充ちて居りました。丁度其時一教師が之れを見て、『ア、見たいのか、ソラソラ』といつて其子供を抱いて見せてやりました。其時の子供の表情！ 今までの輝は忽ち消えて無力のやうな顔付に變りました。

之れは實に面白い實驗談であると思ひます。初めに其幼兒が見たいといふ希望を達し得ず、如何にしてか其障礙に打勝たんと苦心し、終に之れに打勝つべき手段を見出して、今や其希望を満足させんとする瞬間に表はれた輝は、實に彼の快感の表現であります。若し彼が之れを自由に經驗し得たならば、彼は之れに依つて自己發達を爲し得たであります。然るに是等の利益は思慮なき教師に依つて破壊せられ、終に彼をして自分は常に他人の力に依らざれば何事も爲し能はざる者であるといふ無力の感を經驗せしめられたのであります。

す。恰も富貴の家に育つた子供が、自分の力で出来る事を乳母や女中がチャホヤいつて、爲してくれるために、無力の者となるのと同様であります。

獨立と自由

獨立せざる者に自由なし、故に先づ兒童の自由活動を通じて獨立に到達するやうに彼等を導かねばならぬとは、モツテッソリーの意見であります。然るに又兒童は本性獨立的自由の行動を喜ぶ傾を有つて居るといふことは種々の實例に徴して明かであります。

私共の幼稚園の最幼稚な組に華族のお子様があります。或日お歸りの準備として外套を着ましたところが、咽喉の邊にあるフックが自分で懸りません。然るに此幼兒は非常に意志が強い子供でありますので、先生の助けを藉らずに是非其自分でやりとほさうと試みました。其中に他の子供達は皆歸る準備が出来て、靜に待つて居りますのに、尙此子供だけは一生懸命になつてフックを懸けて

居ました。所が先生も氣の長い思慮のある人でありましたから、面白さうに之れを觀察して居ましたので、他の子供達も亦熱心に之れを觀て居ました。然るに其子供は幾度も試みてどうしても嵌まらぬので、其周圍を見廻はして居りましたが、やがて三角戸棚を見出して其處に行き、ガラスの前に立つてやつとフツクを懸けました。得意の色は忽ち彼の顔に表はれ、友達の前には満足と、先生の顔には微笑とが表はれました。

又同じ兒童がある土曜日に其姉を待ち合はせるために、一人幼稚園に残つてお辨當を食べました。丁度保育室が掃除で差支へた爲めに、職員室の大卓子の前に座つて食事をするようになりました。保姆は土瓶を持つて來て其卓上に置いたまま忙しく立ち去りました。私は恰も統計表を製つて居る最中でありましたが、仕事をしつゝ黙つて其様子を觀察して居りました。彼は先づ先生の椅子を持つて來て私の傍に置き、之れに着席致しました。

それから自分でお辨當を開き、風呂敷を疊んでやがて食し初めました。食事がすむと彼はこぼさぬやうにお湯を注ぎ、之れを飲んでから再茶碗にお湯を注いで、食後の嗽ひをするためにやがて室を出て行きました。再び室に戻つて來た彼は、お辨當を片付け、椅子を舊の位置に戻しました、此間の彼の動作は極めて落付いたものでありました。而も彼は非常に活動力に富んだ、時としては寧ろ落付かぬ子供でありました。私はかかる實驗に依つて、幼兒が徒らに成人に世話をやかれるのを厭ひ、自分で何事でも爲すことを好む傾向を有つて居るといふことを學びました。

然るに一般中流以上の家庭では、此力を無視して何事でも爲し與へるために、其愛子を不知不識無力無能にしてしまふのであります。托兒所的の幼稚園では、其家庭の狀態から幼兒を獨立的に育てようとし、何事でも自分で出来ることは自分でするやうに導いて居りますが、中流以上の兒童を

收容する幼稚園では家庭との關係上かかる傾が少
ないやうであります。併しながら兒童の自發活動
を有益に導き、成るべく獨立自主の人を作らうと
いふことは、階級に依つて違ふものではありませ
ん。寧ろ家庭に於てかかる訓練を缺いて居る中流
以上の兒童こそ、特に此方向に導かれねばならぬ
のでありませう。何事でも婢僕の手を藉らねば出
來ぬといふ人は、獨立した者ではなくて、婢僕に
依頼する者であります。自分は無力でないから他
人の世話になることは望まぬといふ精神は、人々
が自己の自由を意識する前に必ず有たねばならぬ
もので、此精神は未來人類の威嚴の根本とならね
ばならぬといふモンテッソーリの意見に私は賛成
を表するのであります。

（『日本之小學教師』第十六卷第百八十八號より）

△エー・エル・ハウ女史

歡迎會

（神戸某女史報）

昨年來其の母國なる米國に歸られ父母友人を訪
ひ諸方面の視察を遂げ殊にモンテッソー女史保
育法の實際をも親しく參觀し研究して今回歸朝せ
られたる頌榮幼稚園長ミス、エー、エル、ハウの歡
迎會は九月十八日午後二時より神戸幼稚園遊嬉室
に開かれました。我國保育界に大いなる効績ある
同女史を歓迎せんと神戸市内保育者は勿論小學校
職員及遠く明石御影大阪の保姆諸氏多數參會があ
り、來會者約百餘名滿堂立錫の餘地もない盛會で
ありました。

望月神戸幼稚園長の開會の辭につき小磯神戸市
保育會長の次の如き挨拶がありました。

『皆様も御承知であります。ハウ先生が米國

より初めて我國に參られたのは。明治廿一年の頃と思ひます。其後廿七年の長い間。我帝國の爲に神戸市の爲に精神上及物質上に盡された其の効績の大なるは今更申上げるまでもありません。眞に我市幾多の兒童の幸福であります。

當に幼兒の保育のみならず其保育者をも養成せられ善良にして且確實なる多數の保姆を九州北海道其他全國を通じて派遣せられたる其の成績は偉大であります。頌榮幼稚園及保姆傳習所は教育界に於ける有名なもので多くの人がこれを參觀して喜びますから之即ち神戸市の大なるデコレーションとなつて居ります。神戸市民は敬意を表す次第であります。ハウ先生には昨年辭養のため米國にお歸りになりました。米國には兩親が御在りになります。御父君は九十幾才御母君は八十幾才とか、そして御健全でありますから御辭養とは申しながら御兩親に孝行の至情を表するためでありまして。其の事はハウ先生

及御兩親に多大な慰安を與へられたのであります。其他先生には米國の保育を充分觀察し進歩せる狀況を見て我國にかへられ新精力を以て又々盡して下さる事であります。之ハウ先生の精神は神と人のために自分を犠牲に供せらるゝ次第で眞に貴い事であります。往々にして一國の帝王にても、其人種を區別する事がありますが、ハウ先生には左様な事は露程もお考へになりませんで。物質上及精神上に出來るだけ盡して下さいるのでありますから一段の敬意を表する次第であります。斯様な所感を述べると共に、世の中の老いたる人が自分の老いたるを非常に歎じて居る事を耳にします。私は之を非常に遺憾とします。ハウ先生は今度米國に歸り新しい保育の方法を研究し視察し今後又々新しい勇氣と新しい力を以て働かんとして居られます。老いたる人が新しい學問を吸入して新しい勇氣と力を以てやれば若い人よりも經驗に豊富

であるだけ何事によらずたしかに其の効は大であります。特に保育に於ては猶更の事と思ひます。大なる松や楠は古を語る最も貴いもので。

これ等は年々新らしき養分を吸収する事によつて五百年千年までも盛んであるであります。

保育者諸君も。先生の如く新らしい學問を盛んにやつて下されば。日本の保育界はたしかに發達いたします。ハウ先生が特に日本の爲に盡して下さるに當り幸福に健全にあらん事を祈りますと共に快く此會に臨んで下さいました事を幸福と存じます。

次にハウ先生のお話の要點を摘録致しますと、

『私は明治廿一年に神戸に參りました。さうですから廿七年の間日本に居ります。昨年米國へ歸りましたのは三回目であります。私は昨年夏シカゴで開かれましたモンテッソーリ主義の夏季學校にまゐりましたが今日は其の話の材料を持つてまゐりませんでした。しかしモンテッソーリ

女史が自由を貴ぶと云ふ事には間違ひありません。同女史はいつも神様の様な忍耐を持つて居る事には感心いたします。普通人の云ふ忍耐は無言で耐え忍ぶと云ふ事ではありますが同女史の忍耐はいつも考へて熱心に勉強して働いて居る事であります。

私は昨年シカゴで四週間の間モンテッソーリ主義によつて貧民の子供を集めて保育した會に臨みました。其の先生は二人の米國婦人で曾てローマに行つてモンテッソーリ女史について學んで來た人であります。そこでは先生はいつも無言の態度で子供にはモンテッソーリの器具を持たせて遊ばせて居りました。子供は初め大騒ぎをして居りました。しかし先生は猶も無言で其子供等の状態を綿密に觀察して子供の爲にどうしてやりませうか。此子供の爲には、其子供の精神状態は如何と。それ／＼個々に付て十分に考へて適當な方法を探つて居りました。斯様

な様子でありますから短時日に於て効はあらはれませんでしたがいとも子供の爲に考へて居ると云ふ事はたしかであります。

其他私は長い間モンテッソー女史の教育法を受けた處の學校も參觀しました。そこでは例の沈黙をやつて居りました。子供が騒いで居ります時に先生が「靜かにせよ」と書き出しました。其れを見た時子供は極めて靜肅にしました。さうするうちに一人の子供は立つて先生の側にまゐりました。それは先生が極めて小さな聲で其子供の名を呼んだからであります。

兎に角モンテッソー女史は衷心より活動し活動するに充分の忍耐をして居るのであります。

今日私のお話しやうと思ふ事は近頃米國では子供の價の觀念が殖えた事であります。此春シカゴで一週間の間赤坊あかんぼうのために俱樂部の様なものが開かれました。それを廣告するのには元町

の様な大通りには婦人が子供を抱いて居る石像を作り夜はそれに澤山の電燈がつく裝置を施したり、あらゆる新聞には廣告せられ、牛乳の瓶に迄レッテルを貼ると云ふ様な種々の方法によつて世間一般に廣告しました。そして各所では講演會を開いたり研究會を開いたりして、それを報告して一週間の間全く子供の爲に働きました。

斯の様に米國に於きましては此頃子供に就ての研究が非常に盛んでありまして種々の方面に其の研究が起つて居ります文部大臣も申されました「大學校よりも幼稚園が大切で大學の先生の教育よりも幼稚園及小學校の先生達の教育が大切である」と。百姓が米、麥を作りますのに其の初めに於て天候なり手入れなりがよかつたならば秋になつてよい實のりがあります。子供の教育も此通りであります。

不思議な事には米國政府で子供の爲に一つの

部省を置かれた事であります。こゝでは内務省外務省の様に大臣を置き子供の事のみを司つて居ります其の大臣はレースルプ女史であります何んと世界の妙ではありませんか。

子供の衛生に付ても非常の進歩をして小學校では毎日齒醫者がまゐりまして齒の悪い子供は一々手當をうけます。金持の子供は其父兄がいたしますが貧乏な子供は學校が總て其費用を負擔します。

此世界には極めて哀れな子供が澤山あります親が貧乏で教育を受ける事の出来ない子供は米國だけにでも幾人あるかも知れませんが、斯様な子供の多い程此世界の損、其の國の損、其の政府の損であります。國民の力は子供であると云ひます。偉人も亦子供から出るのです。それでシカゴでは先年萬國博覽會の開かれた時に婦人會によつて澤山な金を集めました。それを銀行に預けて居りますが毎年其利子だけ

が壹萬圓あります。近頃其金で三ヶ所に於て九百人の貧乏人の子供の世話をして居ります。此頃シカゴ及米國全體が子供と云ふものに就て非常に考へる様になり子供の損と云ふ事と子供の名譽と云ふ事に重きを置く様になりました。』ハウ先生には本日特に日本語をもつて極めて平易に御話下され、我等の益する所實に多大でありました。後、茶菓に互に胸襟を開いて懇談し散會しましたのは五時過でありました。

○^{△△△△△△△△△△}京阪神三市聯合保育會

本年の京阪神三市聯合保育會は左の通り開會せらるゝ由

一、十一月八日午前九時より。

一、京都市大宮通綾小路下ル都文尋常小學校に於て。

△時局と幼稚園

(左に掲ぐるは、茨城県古河町幼稚園長丸山義一氏より、今夏本會の安井幹事に宛てられた保育近況中の一節であります。因に同園では本年暑中休暇中夏の幼稚園を開いて居られたので、此の一節も其の時のことであります。)

八月廿四日。宣戰の布告有之候間、會集の際左のお話をいたし候。

これはどこのお國の旗ですか。

(我國旗を示して)

日の丸……日本の旗……。

健夫さん、これを持つてこゝへ來て立て居て下さい。

これはどこのお國の旗ですか。

(英吉利の國旗を示して)

……………(答なし)

これは英吉利の國旗ですよ。

イギリス……。(嬉こんで連呼せり)

憲ちゃんこれを持つてこゝへ立て居て下さい。

これはどこのお旗でしょうか。

(佛蘭西の國旗を示して)

しらない……。(こゝろにてつぶやけり)

これは佛蘭西の國旗です。

フランス……。(くりかへせり)

喜代子さんこゝへ來てこれを持つて居て下さい。

これはどこのお旗でしょうか。

(露西亞の國旗を示して)

……………(答なし)

これは露西亞の國旗ですよ。

ロシア……。(氣のなさそうにくりかへせり)

友ちゃんこれを持つて居て下さい。

(日、英、佛、露の國旗を集めて)

さーお旗を持たお手を高くあげて旗竿を組んで下さい、さうくよく組めました、組んで處を左手で握り上下に軽く動かしながら。

この四ツのお國、日本、英吉利、佛蘭西、露西

亞は仲の好い御親類のお國なの……。

さうしたらこゝにあるお旗、これは獨逸の國旗です。

(交狹せし同盟國旗の下部に突き出し)

この獨逸が日本と御親類の國々と戦争を始めましたの。

日本ではいつでもお手傳ひしますよと云ふお約束を英吉利としてありますから、日本も今日から獨逸と戦争することになりました。

この前に日本は露西亞と戦争をしましたね。

え……(承知し居る意を明かに表示せり)

その時ロシアはこれからは仲を好くして喧嘩などはしますまいネと申しましたから日本ではそれなら戦争をやめてこれからは仲を好くしましょうネと、かんにんしてあげて從來までより一層仲が好くなりましたの。

こんども獨逸がもう戦争などはよしませうと云ひましたらかんにんしてあげて一層仲好く遊んであげましょうネ。一日も早く戦争がおやめにな

つて獨逸が日本や英吉利や佛蘭西や露西亞と仲好く遊ぶようにしたいものですネ。これからは毎日戦争のお話をしてあげますから、夜は早くねんねをして朝早く起きておはようをしてお飯を澤山たべていつてまゐりますと幼稚園に來て元氣好く遊そんで兵隊さんのようにつよくなるのですよ。

英吉利では子供の小さい兵隊さんがありまして學校のお休みには集まつてお一二お一二とお稽古をして戦争の時は兵隊さんのお使をしたりいろいろお手傳ひをして居ります。さあ皆さんもまげなように。

『霞か雲か……』を合唱しましょう(ドンブラコの終りの一節)……。丁り。

園兒は各國の國旗を識別いたし候。

歸宅して家庭に於てお話をくりかへして話なせし園兒もありと……僕は忘れないうちにお話するんだとすぐお話にとりかゝり親御を嬉こばせし園兒もありし由に候。

△福島文學士著『兒童の模倣』

編 者

嘗て本誌第七號に『教育上から見た子供の模倣全盛期』といふ有益なる論文の掲げられたことは讀者諸君の記憶に未だ新しいことと思ひます。

彼の一篇は、實は當時丁度印刷中の同氏著『實踐教育上より見たる兒童の模倣』の原稿の中から、特に乞ふて頂戴したのでした。今其の印刷全く了り通俗學藝叢書第一編として出版せられたるに際し、之れを諸君の前にすゝめざるを得ないのであります。

元來すべての教育に兒童の模倣の深く研究せらるべき必要あるは言を俟たないのであります。幼兒教育に於ては、わけても最も重要なことであります。之れを明かにせず、之れを善用することとを怠つて、完全なる幼兒教育を行はんことは、到底期することが出來ないのであります。家庭に

於て然り、幼稚園に於て亦然り、實に模倣は幼兒の發達の武器でありまして、以て善用せらるべく、又屢々惡用せらるゝ處のものであります。あなた幼稚園に於ては、果して如何に善用せられて居りますか、又惡用せられては居りませんか。然り而して、あなたはよく彼等の此の武器に就て正確にして詳細なる知識を有して居りますか。

教育に模倣の重要なるは昔から何人も説く處であります。しかし、此書の著者も説いて居らるゝ通り、之れを深く心理作用の奥まで立ち入り、又實祭上の詳細な指針を與へて居る人は、あまり無かつたのであります。本書はもと通俗平易を期して必ずしも科學的に論述せられてあるのではありませんが、しかも、模倣の心理及び教育を説くこと最も懇切、教育研究上の此の缺陷を補へる、恐らく唯一の書といつてよからうと思ひます。殊に、著者がどこ迄も教育に於ける教師の人格の貴重を力説して、之れと模倣の心理とを結び、實踐教育

の第一問題を明らかにせられたことは、本書の讀者にとつて、最も有益なる點と信するのであります。

章を分つこと十二、頁數三百二十四、行文流麗にして叙述懇篤。近來往々にして粗糲不親切なる

出版物尠からざる中に、實に稀に見る眞面目なる好著といふべきであります。時恰かも燈下書に親しむべきの候、之れを廣く諸君の机上にすゝめ度いと思ふのであります。

(定價金一圓二十錢、東京日本橋區大傳馬町内田老龜園刊行)

保育入門

(九)

倉橋惣三

九、幼稚園教育の方法

第三、其の手段

(一般論——音樂論)

自發遊戲を其の基本とし、遊具を其の材料とする幼稚園教育法の研究は、すなはち其の適當なる手段の研究である。而して其の目的を達するに有益なりと認むるあらゆる手段を採り用ゐて怠るまじきである。

幼稚園教育上の手段に就て、往々にして左の如き誤解が行はれることがある。先づ之れを匡して置かなければならない。

(一) 幼稚園教育法の各項目として行はるゝ處のものは、學校教育に於ける教科とは大に性質を

異にするものである。即ち教科に於ては、教育學上に所謂形式的目的も重要なことではあるが、寧ろ各教科の實質的目的が缺くべからざる目的となつて居るのである。謂はゞ教科それ自身を授與することが目的なのである。如何に極端なる教授上の形式論者と雖も、此の目的を無視することは、學校教育としては許さざるべからざることである。

然るに、幼稚園教育に於ては、教科として夫れ自身を教授することが目的ではないのであつて、どこ迄も手段として用ゐらるゝのである。之れを更に具體的に説明すれば、假令ば幼稚園に於ても小學校に於ても、同じく唱歌があり圖畫があり手技がある。しかも其の名稱が相同うせらるゝ丈けであつて、其の性質は決して同一ではない。勿論唱歌、圖畫、手技そのものに異なる處はないのであるが、小學校に於ては教科として撰擇せられ、幼稚園に於ては手段として採用せられて居るのである。従つて幼稚園に於ては、如何に唱ふべきか、如何

に描くべきか、如何に型かたどるべきかといふことよりも、唱歌、圖畫、手技等によつて、如何に幼稚園教育の目的が達せらるゝかといふことを主にして居るのである。但し結果としては、唱ふこと描くこと型することに熟練もあらはれ、技巧も生ずるには相違ないのであるが、それは決して目的ではない。のみならず、斯くの如き結果のために、手段としての本來の目的が些少にでも犠牲に供せらるゝことを、最も懼れて居るのである。

(二) 學校教育の教科は、それ自身が目的であつて見れば、其の種類は確定的なものである。時代によつて教科の種類に變遷はあるとしても、定められた丈けの教科は必ず教授せられなければならない。又濫りにその以外のものを教科として加へ用ふることを許されない。しかし、幼稚園教育法の手段は、それ程確定的なものではない。換言すれば、何と何とを用ゐなければならぬと規定せられて居るものではない。又普通其の項目が理

論的に、或は習慣的にきまつて居るにしても、その他の手段を用ゆるに何の不可はないのである。現に我國法令の規定が極く大綱を示すに止まつて、その細目にまで及ばず、大に教育者其の人の自由の餘地を與へてあることは、頗る其の當を得たものといふべきなのである。或は此の法令の大綱に止まるを以て、幼稚園教育令の不完備なりとし、之れを彼の小學校令殊に其の教授細目の如く周到綿密些の間隙も存せざる如きものに改正した方がよいと考へられないこともないかも知れない。しかし、決して左様の性質のものではない。實に幼稚園教育は、そんな窮屈なものではないのである。即ち幼稚園教育者は、自己の識見と經驗と、而して不斷の考案と工夫とを以て、手段の活用を怠るまじきものである。

以上二つの點は、極めて自明の理でありながら展々誤解せられて居る。誤解せられないまでも、甚だ不透明な考へ方をせられて居る。其の爲に、

幼稚園教育方法の研究が、甚だしく其の正しい方針を誤らるゝことがある。研究、熱心、益々大なるに従つて、迷路に入ること益々深しといふ様な意外の弊を生ずることさへもある。假令は唱歌の研究が幼稚園教育本來の意義を忘れた唱歌教授になり、圖畫の研究が、其の何の爲の手段たるかを忘れた技術教育になつたりする如き、必ずしも稀なことでもない。之れを熱心といへば言へないこともなからう。併し幼稚園教育としては邪路なのである。

用意の誤りは不用意の誤りよりも却つて其の害が大いなるものである。幼稚園教育法の誤謬、實に此の誤りの如く甚しいものはない。過ぎたるは及ばざる如しといふが、之れも或は其一つかも知れない。而して、茲が實に幼稚園教育法研究の最も六かしい點であるとも言ひ得る。不熱心では勿論濟まない。しかも熱心過ぎて其の限度を超え、規範を脱しては尙ほならない。しかも熱心になる

と、つい其の規範を超え易い。幼稚園教育者の深く考へなければならぬのは、此の點である。幼稚園教育者に明瞭透徹な頭腦の必要なのも此の點である。他の教育と異つた別個の習練を要するのも此の點である。

然らば、何にその規範を置き、何をその限度とするかといへば、すなはち幼稚園教育の原則として挙げた處の四ヶ條に準據する他はないのである。

詳言すれば、一方には如何にして四原則を充分發揮せしむべきかを考へて、その爲に適當なる手段を活用するに怠る處なく、又一方には、如何なる手段によるも、又その結果として假令如何なる點に到り得べきものなりとするも、必ず常に此の四原則の埒を脱すまじきことである。

而して、斯ういふ立場から、幼稚園教育に適當なりと思惟せらるゝ手段の主なるもの數頂に就てその特に幼稚園教育の手段として有する價值を明

かにして、正しい教育法の指針に供しようと思ふ。

(一) 音樂

幼兒の生活をして最よく自發的ならしめ、相互的ならしめ、而して其の教育的効果の最も具體的にして習慣的なるもの、實に音樂の如きはない。

單に幼兒教育の上にのみならず、廣く人生に於ける音樂の力及び其の價値の實際上及び理論上認めらるゝ所以も亦、要するに此の四つの點にありと言ひ得るのである。古來宗教上の儀禮に必ず音樂の伴ひ、高尚なる性情陶冶の方法として音樂が重ぜらるゝ、皆此の故に他ならない。音樂が幼稚園教育法の手段として用ゐらるゝも亦、此の貴重の本質によるのである。

(い) 蓋し、音樂は幼兒の心身を促し動かして、生々發瀾の狀態に導くと共に、更に其の心性の奥底に潜むあらゆる美しきものを誘ひ來る。すなはち、沈靜を活動にかへ、潜在を表顯に移すのであ

る。其の強き力は昔から屢々神秘的と考へらるゝ程である。

彼の自發力に於て缺陷の甚しい白痴兒の如きものでさへも、音樂の力は著しく作用して其の精神の活動を促すものである。況んや普通の幼兒に於てをや。閉ぢた心は開かれ、縮んだ筋肉は伸びて来る。其の音が有する勇ましき、優しき、崇高なる、それ／＼の響は、幼兒の心のそれ／＼の諸感情に共鳴して、或は激越に、或は徐々に、之れを波立たせ、又は流露せしめて来る。實に、音樂を唱ふ時は勿論、聽く時に於ても、幼兒の心は盛なる發動の態度にある。すなはち最も豐なる自發の狀態にあらしめ得るのである。

(ろ) 音樂の相互的影響力に至つては、更に又著しいものがある。蓋し音樂が有する律動の力は、之を聽くもの唱ふるものゝ小さい個性の隔壁を除き去つて、相互に相溶和せしめざれば己まない。樂譜に連れて舞ふ足どりは揃はざるを得ず、合唱

の聲は感激も詠嘆も共に一つの心に相和せざるを得ない。小さく我れを守り、頑に他を斥ける如き性情の幼兒と雖も、音樂の前には、識らず／＼友の手をとり、おのづから笑み交はす様になる。話しかけ問ひかけては決して答へない沈黙兒も、歌でさそへば相和して来る。此の相互的親和力に於て、恐らく何ものも音樂に優るものはない。

(は) 音樂は精神の未だ分化せざる狀態に於ける發表である。美しきものに對し、崇高なるものに對し、親しきものに對し、其の態度を理性の言語を以て發表すれば説明になる。説明は抽象である。音樂は、其の態度そのまゝの發表である。抽象の餘裕もなく其の時の我れを其のまゝに投げ出したのである。即ち最も具體的である。更に之れを逆にして、音樂から引き起さるゝ我れの態度も亦全く非分化の我れ其のものであつて、最も具體的なものである。他の言葉を以ていへば、考へることゝ感ずることゝが分れない混一たる態度に居

るのである。従つて、音楽から得來る處のものは考へて後感じ、感じてから考へるといふ如き二段の手續きを踏むことなくして、精神全體が之れに反感するのである。

(に) 音楽の情緒的基調を養ふに最適なることは、以上三つの點よりも尙著しいことである。即ち、其の感化は、理解を経ずして直接に性情の中心に入るものであつて、理外の勢力を最も底深く浸潤せしむるものである。即ち其の音調は、最もよく記憶せられたる觀念よりも固く、最もよく反復せられたる動作よりも深く、其の將來の生活を支配して、常に生涯の基調をなすものである。昔唱ひなれた歌の譜は、何故といふことなく、人を昔の心に返すものである。素より理解や確信の如く明瞭にして顯著なるものではないが、それだけ亦浸み込み、浸み渡る強い力をもつて居るものである。

音楽の力斯くの如く、幼稚園教育法の手段として適當なる所以茲にありとすれば、幼稚園の音楽は、此の意味に於て最もよく利用せられなければならない。而して其の注意要項の二三を挙げれば次の如くである。

(イ) 正しく唱ひ、巧みに唱ふことも素より大切であるけれども、之れが爲めに自由自然なる感激を犠牲にしてはならない。感激を伴はない唱歌は空虚である。空虚なる音楽は無益なるのみならず却つて有害である。其の反對に、感激の發露でさへあれば、その第一義に於て實に立派な音楽である。而して、幼兒をして音楽を空虚ならしむるもの、餘りに早く初められ且つ餘りに嚴格なる音階の練習の如きはない。音譜練習の苦を與へられて、音楽は窮屈なものになる。心には唱ふても聲に出なくなる。遂には心にも唱へなくなる。

(ロ) 音楽をして空虚ならしめぬ爲めには、虚偽の感情を唱はせてはならぬ。幼兒の經驗もしな

(二) 音樂をして常に其の力を保たしむる爲めに其の濫用は最も慎むべきことである。

フレーベル自傳

(第十回)

(「マイニンゲン大公に宛てたる書翰」)

倉橋惣三 譯

七十四、外的世界の擴大

斯く決心すると同時に私は勇んで教育及び訓化といふことに就て考へ始めました。

第一に私が思ひ耽つたことは教育を適當に行ふには兒童の生活を分け前しなければならぬといふ明かな信念でありました。次に「初歩教育とは如何」「ヘスタロッチの主張に係る教育方法には如何なる價值があるか」「就中教育の目的は如何」といふ諸問題が起つて來ました。

「教育の目的は如何」といふ問題の答としては私はその頃次の見界に依つて居りました、

人は己が支配され而して又己が支配しやうと望む物質世界に生きる、故に人は是等の物質の性質、

状態、彼等相互及び人類との關係を知るべきである、物質は形體、容積、數を持つてゐる。

「外的世界」といふ言葉を私はその頃たい自然といふ意味に使つて居りました、私は自然物に心を専らにするのあまり人の技巧や製作物を顧みませんでした。それがために長い間人の手細工をヘスタロッチの後進トブレルやホツプフと共に初歩の修養の適當な主題と眞倣すには骨が折れました而して私が人の製作品の世界をも外的生活の一部と認めることが出来るやうになつた時私の内的及び外的の視野は著しく廣くなりました。

斯うして私は當時これ以上出來ないと思ふまでに人を通じてすべての物の意味、人とその人自身

との關係及び外的世界と人との關係を明かにしやうと努めました。

この頃私の思附いた最も含蓄ある思想といふのは次の如きものであります。

すべては渾一である、すべては渾一に従ふ、すべては渾一より湧き出で渾一のために戦ひ漸次渾一に達し而して遂に渾一に歸る、この渾一の中に戦ひ渾一を求めて戦ふことが人生に於ける數相の眞因である。

けれども私の内的幻影と私の外的知覺、影像及び行動との間には大きな溝が横はつて居りました。それ故に人の教育及び訓化のために得なくてはならない又得らるべきすべてのものは必ず人そのものと及びその人が係はつてゐる關係に於てその人の發達の必要な過程の性質によつて條件附けられ定められねばならねと私には考へられました。

是等の關係を注意して之を認め更らに之を支配し調査するやうに訓練された人がよく教育された

人であると私には考へられました。

七十五、生徒と共にする生活

私はこの期間に於て甚だ熱心に研究しました、けれども教育の方法と目的とは兩方とも微小の斷片に分れた全然秩序のない辻褄の合はぬものとなつてしまひました。それで私は數年の間すべての教育方法に統一した次第と生氣ある渾一とを與へやうと絶えず心掛けてゐましたが太した進歩を見ませんでした。

當時私の言馴れた又言馴れたが爲めに特性的に私の願望を言ひ現すやうになつてゐた言葉は「私は相互連絡に於けるすべてのものを見たい、知りたい、而してそれを現したい」といふのでありました。

それでも幸にもその頃サイレルやジェーン、ボールや其他教育者の著書が世に現れました。

夫等の著書は私と意見を同じくして更に優れてゐるのもありましたし又私と意見を異にしてゐる

のもありまして私を裨益し向上するところが尠くありませんでした。

ベストロッチの教育法はその言論に於ては人間の要求を充たしてゐることを私は知つてゐました、しかしそれは生きた力としてゐありません。しかし此頃私が解釋に大いに頭を痛めてゐた問題——私の生徒には分らなかつたかも知れませんが私かに苦惱してゐたことは教育の主意の間に何等の組織的關係がないといふことでありました。

愉快な自由な仕事はすべてのものを渾然たる一物と見る概念から湧き出で、生活と仕事とを宇宙の組織と調和させ又その上にしつかりと懋はしめるやうにします。これが私の熱心に感知した眞の教育でありましたから私の初期の教育の仕事は生徒と一緒に居て私の生活と仕事の力によつて彼等を感化することに止まつて居りました。これより以上には私は與へる地位には居りませんでした。

あゝ人といふものは始めて得らるゝ幸福を如何

に曲解し而して如何に尠くその價值を認むることよ。

今私が教育家としての適當な生活及び仕事に關して私自身を明かにせんとするに際し當時の記憶は更に新しく私に甦つて來るのであります。

私はこれから私の先生の生涯の幼年期を顧みてそれから學びます、丁度それと同じく私は又私の幼年期を顧みてこれを調査し就て學ぶのであります。

何故すべての幼年期、少年期は富に充ちてゐるのに敢てそれに氣附かないでゐるのでせう、而して何故それを知らずに失つてしまひ、永久に再び手に入らぬやうになつた時始めて如何にそれが大切であつたかを知るのでせう。それは何時もそんな風になつて行かねばならないのでせうか、どんな幼兒でも少年にでも之れはそんな風になつて行かねばならないのでせうか。

經驗や洞察力や年齢に連れた見聞や智識そのも

のやが少年の幼児期のために防備や庇護や保安をなす時がつまりは到來するのではないでせうか、直きに到來するのではありますまいか。

老人の經驗や碩學の智慧もその所有主と共に墓石の下に埋められてしまつては人類に何の用をかなしませう。

始めの内は生徒と共にする私の生活と仕事とは狭い範圍に局限されてゐました。それは唯戸外に生活し逍遙し散歩に行くことのみでありました。

私は都會の教育方法を好みませんでした、而かも尙自然に包まれた生活をば敢て教育の課程としやうとは思いませんでした。

それは私の幼い生徒から教へられたのでありました、而して私は私自身の教養の都合から自然に對して現れるすべての匂やかな感覺を出來るだけ熱心に育みましたので生徒の間には自然物から感得する生命に包まれたる喜び、生命を與へらるゝ喜び及び生命を向上させらるゝ喜びが直きに發達

しました。

翌年に至つてこの生活の仕方は父親がその子供達に牧場の一部を花園用として與へたことによつて更に増大されました。これを耕作するために私達は協力して働きました、私の生徒の一番大きな喜びは彼等の庭園からの産物を兩親や私に少しづゝ贈るといふことでありました。

彼等が都合よく贈物をする事が出來たときに彼等の眼は如何に喜悅を以て輝いたでせう。

神の大なる花園なる野原の美しい花や小さな灌木は私達によつて子供の庭園に移し植ゑられました、而して其處で注意深く育まれました。如斯き移住者が同地方の住民の中に明かに數へらるゝ時に二人の少年は殊に大喜びをしました。

この時以來私自身の少年期はもう空費されてゐると思はれませんでした。

私は植物を注視してその自由な成長のすべての状態を研究した人と自然から離れてゐる人とは

植物の栽培といふ事が全然異つた事であるといふことを認めました。

七十六、洗禮の祝文

而して當時既に私は私の最初の生徒達と共に自然の懷に抱かれて楽しく愉快に暮しましたので私は自然生活の訓練は人間生活の訓練に非常に密接な關係を持つてゐるといふ事が分り始めました、何故ならば彼の花や草の贈物は兩親や先生の愛の感佩と認識とを現さなかつたでありませうか、我等は少年期の特性的は愛情と熱烈な感謝の念との所産ではなかつたでありませうか。自ら思ふが儘に花を探し出して兩親と先生に贈る花環や花束を作ることが出来るやうにそれを注意し保護する様な子供がいたづら子になつたり惡人になつたりする筈はありません。

斯る子供は容易く愛に導き感謝に導くことが出来ます、又是等の花を與へて兩親の心を悦ばせるために自分を愉快な花の寄贈者としてくれる神な

るものゝ慈悲を認めさせる事が出来ます。

奮闘の時代は其中に神に取つて特殊な意義の要素を含んで居りました。それは私の前に様々な進歩の跡を示してゐる私の過去の生涯及び殊に其の生涯に形を與へ影響を與へた所の重なる事件の原因と結果を齎しました、而して私の生涯に於ける極めて初期の出來事を顧る事は特に重要な事である様に私は常に思ひました。

けれども私は私の幼年期の具體的な事實に關しては極く僅かな材料しか残つて居りません、何故ならば私の幼兒を知つてゐて私にその頃のことを話してくれる私の母は私の生活が眞に呼び醒まされる前に此世を去つてしまつたからであります。

私の手許に残つてゐる僅な遺物の中に私の教母からの祝辭(所謂洗禮文)がありました。それは私が洗禮を受けると間もなくチューリッゲンの習慣に従つて教母が私の世に出た祝ひの印として贈つたものであります。それが父の死後私の有に歸

しました。

單純な基督教徒の優しい宗教的な女らしい心根の籠つた此文は平明な懐しみのある言葉で幼い基督教徒と其洗禮によつて彼が繋がれたものとの關係を現してゐました。

此文を通して私の幼年期及び少年期の心情の内の生活が當時の心安さと幸福とを伴つて私の前に齎されました。この事を考へると私の心は私が非常に欲してゐた獨創的な激勵的な啓蒙的な渾一を再び得ました。

けれども同時に私の幼年期及び少年期のすべての決心が再び私の上に甦つて來ました、而して此等の決心が成就されない内に如何に多くの決心が其上に起つたであらうかといふことが分つて來ました。而してそれは薄弱な子供らしい空想を強めた種々な先例や理想の記憶をそれに續いて私の前に持運んで來ました。

けれども私の生活は感情と理智に關する事柄を

除いては外的に定まつた形式の中に立ち能ふべく又敢て立つべくそれから又他の生活に決定的な關係を結ぶべく餘りに内面的な而して餘りに嚴格な個的生活でありました。

實際私自身を適當に發表する力は極く最近に私に得られたのであります。私の現在の教育的仕事を始めてからも却々得られなかつたのであります。此教育的仕事の全期間に於て私の個的生活が孰の方面から見ても普通の人類の存在よりも異つてゐたといふ事を思ひ出すことが出來ません。

けれども私がこの事に就て確乎とお話をする前に私の幼年期の生活の事情に就て報告を得なければなりません。其事は甚だ明かであります。私が話してゐる當時の私の生活は只その一般普通の人間の狀態に於てのみ私の記憶の中に存して居りました。

後年に至つても左様であつたのですが當時も私の内的生活を外的生活から引離して考へ又内的生

活殊に宗教に關する内的生活に一定の形を與へ外的の表現を與へるといふ事は私に取つては困難でありました。

七十七、子供と宗教

感情を通じて眞摯な確信を通じて教會の一定した宗教的形式が私の心に届いて居り而して私を清め且つ刺戟しましたけれども私は人々殊に生徒と是等の一定した宗教的形式に就て話すのを好まなかつたといふ事を敢て否定しやうとはしません。

私は是等の形式を單純な健全な人々に私に理解せられてゐたと同様に明瞭に生々と理解させる事が出来ませんでした。此見地からして私は自然に育てられた子供は定つた教會の形式を必要としないといふ事を結論します。

何故ならば愛情を以て育まれ、それがために絶えず力強く發達して來た人の生活及び煩ひなき子供の生活はそれ自身に於て基督教者の生活であり又あらねばなりません。

私は更に生活の深い眞義か或は宗教の深い眞義を與へられてゐる子供はそれによつて嚴格な教義が生活にまで輝かされ促進される純な男らしい生活に取圍まるべき青年になつた時に於て教會の教義の獨創的な積極的な形式を命令的に必要とするといふことを結論いたします、然らざれば子供は同化することの出来ない獨創的な宗教の形式に其尊き全生活を抛げ出してしまふ危險に陥ります、是に於て形式と生活が一體となつて働き互に光を注ぎ合ひ恰も内的生活と外的生活、特殊なものと普遍なものとの如く親しく提携して進んで行く所の最高き信仰が見出さるゝのであります。

けれども私は此の長い横道から戻り而して教育者としての私の生活と仕事との記事を再び始めねばなりません。

身體の運動はまだその教育的價值に於て私に認められませんでしたが、私はたい繩の上を跳ぶ事と私の子供らしい練習を通じて竹馬に乗る事しか知

りませんでした、是等の運動は私の生徒及び私の嗜好及び思慮にありませんでしたので私等の日常生活に何等の關係を持つてゐませんでした、そこで私達はそれをたい子供らしい遊びと心得てゐました。

自然が人の前に赤裸々に横はる時に於て年が人に齎す所のものを自然がその人の注視から屢々鎖される時に於ては年はその人にそれを齎しません而して二つの季節が反對の賜を齎すために二つの時期は交るかは交るかは反對なものを要します。

一年の後半部に於て人が自身にかまればかまける程その人の職務は益々範圍の狭い個的特性を帯びて來ます。

恰も冬の生活と自然が固定され局限されると同じ様に冬の生活と人も固定され局限されます。それ故にこの時に於ける子供の生活は或る定まつた流行物を要求するか或は定つた流行に形造らるべき流行外れの物を要求します。

私の生徒は直きに此の新しき要求に驅られて私の許に來ました。苟くも生活があり若くはあつた所に於ては生活の要求する所の物は生活がこれを供給します、苟くも少年が居り若くは居つた所に於ては少年が要求する所のものは少年がこれを供給します、老いた人の生活が大人から或は多くの大人から要求する所のものは其の要求が正しく生活し續けられて來た時は幼兒の生活及び少年の生活に由つてこれを供給されます。

七十八、遊戲と自然の創造

私の生徒の要求は私に次の疑問を起させました
汝の少年時代に何をなしたか。汝は爲すべく而して表現すべき何物かに向つての汝の要求を満足せしむべく汝に何者が起りしや。汝の生涯の同時期に於て何によつて此の要求が充分満足せられしか又汝は當時この目的に對して何を最も望みしか。扨て必要に當つて私の要求するすべてを與へた幼年期の記憶が私に起つて來ました。

それは滑かな紙の上に頃合の筆鋒を以て模様や形を寫し出すやさしい技術でありました。

私は後年屢々この簡単な技術を利用しました、而してこの時も亦それは私の生徒と私に忠實に役立ちました。私達の技藝は最初は師弟共に未熟でありましたが馴れるに従て速かに進歩しました。

私達は紙の上に描いた形から紙を以て形を切抜くことに移つて行き、それからボール紙で作るやうになり遂に木片で作るやうになりました。

私のその後の經驗は形體の研究に一番都合のいゝ形狀や材料を私に教へましたがこの事に就ては私はその適當な場所に於て別に述べやうと思ひます。

けれども私はこの紙の上に形を現す極めて簡単な仕事に就てもう少し述べなければなりません、何故ならば或る時期にはそれは完く子供を惹き付けます、而して子供の機能の要求を充して満足させます。

これは何故でせうか。それは子供に容易く自發的に而して同時に不知不識の間にその獨創力に應じて直截な明快な多方面な結果を與へます。

兒 童 研 究

社會の改善も、人類の向上も、文明の進歩も、國家の發展も、詮じつむれば、ただ善良の兒童を得るにありと言ふことになる。兒童を愛する國は興り、兒童を顧みざる國は亡ぶ、これは千古萬古變ることなき箴言である。兒童の研究は、ひとり教育家や、醫家に一任して置くべきものではない。世の父兄自ら研究すべき筈のものである。兒童の研究は即ち我を愛し、家を愛し、國を愛し、人類を愛することになる、兒童のために最善を謀らざる家庭は、決して幸福を望むことは出来ぬ、我儕は何人も兒童の研究に興味を持たれんことを切に希望してやまないのである。

○會費半箇年分金九十錢 同一箇年分一圓八十錢○兒童研究は毎月一回二十五日發行○會員には無代頒布○見本金十五錢

東京市本郷區千駄木町五十番地

日 本 兒 童 學 會

幼 稚 園 用 品

家 庭 用 玩 具

東 京 九 段

フ レ ー ル 館

新築後工場も整頓致し店も精々片々付き申候間益々
業務に奮勵仕り物品を精選し格價を最も低廉に
需に應じ可申候に舊御愛顧を願上候

日本玩具研究會 會員募集

會費は一ヶ月五拾錢にて研究した面白い御爲めになるよい玩具が毎月得られます(申込次第規則書送る)

本會評議員

巖谷 小波	甲賀 藤子	吉田 熊次
多田房之助	野口 ゆか	倉橋 惣三
久留島武彦	山脇 春樹	町田 則文
小西 信八	三土 忠造	三輪田 元道
莊司市太郎	森村 開作	

本會幹事

稻垣 知剛	和田 實	河野 清丸
高市 次郎	曾根松太郎	武藤 忠義
野村 忠寛	松田 茂	藤 五代策
岸邊 福雄	御園生金太郎	

申込所 東京九段 日本玩具研究會